



日本建築学会主催  
第6回 子どものまち・いえワークショップ提案コンペ 最優秀賞受賞

# BOO FOO WOO CHALLENGE

— 3棟のこぶた基地 —

**ワークショップ内容**  
「3びきのこぶた」の Boo, Foo, Woo、3つのチームに分かれ、「ふわふわした」「ざらざらした」「ごつごつした」秘密基地をつくってもらいます！  
いつもおかいものをしてショッピングセンターから出た、廃材を集めた「材料の山」や、お店から直接廃材を受け取り、「3びきのこぶた」に負けないような秘密基地をチームみんなで作るワークショップです。

**実施日:** 11月13日(日)  
**時間:** 10:30~17:00  
**会場:** 東京都葛飾区 アリオ亀有 一階ウインドコート  
**参加者数:** 約150名(事前申込参加者15名、アンケート協力者50名、「秘密基地で遊ぶ」の一般参加者25名、観覧・写真撮影の一般客60名)

**主催・企画・運営:** 日本建築学会、Boo Foo Woo CHALLENGE 実行委員会(5人)、工学院大学 大学生有志(24人)  
**後援:** 工学院大学 建築学部  
**協賛:** (株)モール・エスシー開発  
**協力:** アリオ亀有

## 一日の流れ



## ワークショップの流れ

開会式	材料をもらう	設計図	秘密基地を作る	完成!	秘密基地で遊ぶ	発表会
秘密基地を怪我なく安全に作るためのルール説明。チームごとのテーマ(オノマトペ)も発表。そのあと、くじ引きで Boo・Foo・Woo の三チームに分かれた。	各チームのテーマを元に、チームごとに材料をもらいに行く。Boo は本屋さんで廃棄する雑誌、Foo は手芸屋さんで布、Woo は靴屋さんで靴箱をもらった。	どんな基地を建てるか、どうしたとて材料をもらいに行く。Boo は本屋さんで廃棄する雑誌、Foo は手芸屋さんで布、Woo は靴屋さんで靴箱をもらった。	秘密基地づくり開始! 材料をうまく活用してテーマに合った基地作りをしたり、こぶたの生活の場を入れたり、思い思いの基地を作った。	開始から5時間後、ついに秘密基地が完成! お店から買ったもの、材料の山から取ったもの、宝探しゲームで獲得した特別な材料など、工夫して秘密基地を創り上げた!	参加者以外の子どもたちも混ざり、各チームの秘密基地で遊んだ。途中、テーマ以外のオノマトペを探し、吹き出しに書いてベタベタ貼るゲームをした。	全員で発表するチームの秘密基地を囲んで行った。一人ずつ、テーマに沿って作ったところ、イチオシの場所、工夫した点などを聞いた。

## ワークショップの結果

ノベルティ	アンケート	おえかき	Team BOO	Team FOO	Team WOO	片付け
ワークショップに参加してくれた子どもたちは、名札になるバッジやシールなどのノベルティ、お手紙をプレゼントした。	会場に立ち寄ってくださった人々に向けてアンケートを行った。大人向けアンケート、子ども向けアンケートの二種類があり、子ども向けアンケートではおえかきをした。	「りそうのひみつきち」というテーマで、子どもたちにお絵描きをしてもらった。ワークショップに参加している子どもたちよりも、幼い子ども達が多く参加してくれた。	Boo チームのテーマは「さらさら」と「紙を使った」秘密基地。大量の雑誌を箱に詰め基地の土台にしたり、部材の結合部分に新聞紙を活用するなどの創意工夫が光った。	Foo チームのテーマは「ふわふわ」と「布を使った」秘密基地。ふわふわな壁を成立させるため、壁に綿を詰めたり、Foo さんの郵便受けを作ったりした。	Woo チームのテーマは「ごつごつ」と「小さい段ボールを使った」秘密基地。箱を格子状に組み合わせ丈夫な秘密基地を作った。メインに大きな滑り台を設置した。	材料のほとんどはショッピングセンターから出したもの。ゴミの分別はしっかり行い、ショッピングセンターにお返した。ゴミ袋の色によって種類が分けられている。